

## 令和元年度 事業報告

### 第1号議案

※ 会員獲得目標・・・ 登録者 1200 名 ⇒ 直近1116名(前期実績 1080 名)

・年度途中で 1122 名まで登録者数が増えたものの、年度末にかけての会費未納者等の退会により 1116 名にとどまり、目標達成には至らなかった。

#### <事業計画重点課題>

##### ① 会員獲得のさらなる強化

・熊本県独自の入会特典(研修券)配布や日介の入会金免除キャンペーンを活用するなど行った。  
・各支部においても、研修や様々な催事を通じて会員獲得に努めた。

##### ② 熊本県内の各地域における活動の活発化に向けた、支部体制の見直し(2ヵ年計画)

・令和元年7月に天草支部を設立、天草市長をはじめとする来賓を招き総会を開催し、約100名の参加があった。また、令和2年4月 人吉球磨支部立ち上げを目指し準備していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、延期にすることになった。

本会定款第4条に則り以下の事業を実施する

#### 1 会員の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上を図るための研修

○ スキルアップ研修等・・・県・支部単位において実施

県全体5回 県北7回 県央3回 県南11回

○ 実習指導者養成研修・・・ 前期(7/26、30、8/3、11の4日間)

後期(2/2、9、22、23の4日間)

○ 介護福祉士基本研修・・・ 前期(6/22、23、7/6、8/11の4日間)

後期(10/26、27、11/9、10の4日間)

○ ファーストステップ研修・・・ 4月～12月開催 全16日

○ サービス提供責任者研修・・・ 8/18、31、9/8、14、10/12、20の6日間

○ 技能実習指導員養成研修・・・ 11/6

○ 災害ボランティア研修・・・12/19

○ 新カリ対応実習指導者研修・・・1/18

○ 日本介護福祉士会主催の研修、ブロック大会への参加

全国大会・介護学会 石川県・・・11月15～16日

九州ブロック大会 宮崎県・・・9月27～28日

#### 2 介護・福祉の推進に必要な調査・研究

○ 研究委員会において、介護福祉領域の研究を行う。また、学会等への学術発表を促進する

・前述の石川大会、宮崎大会において、ポスターセッション及び発表を行った。

- 日本介護福祉士会や関係機関が行う、就労実態・イメージアップ・その他の調査に協力した

### 3 介護福祉の向上のための普及啓発

- ホームページ、facebook を活用した広報を積極的に行った
- カラー刷りのチラシ、広報紙の作成・・・熊介通信の発行をした
- 事業所訪問活動・・・各支部において、会員獲得、資格取得に向けた啓発を行った
- 介護福祉士養成校、福祉系高校との連携を図り、講師派遣や研修協力など行った
- 介護の日 in くまもと 2019 実行委員長・業務受託など
  - ・第10回記念イベント「KaiGO PRIDE」として、マンジョットヘディ氏のアート及び動画作品を作成。県内外にも広く広報し、新聞・TVなどのメディアでも数多く取り上げられた。イベント当日も、主会場をはじめとする関連催事に 1000 名を超える来場があった。

### 4 会員相互の交流

- 研修会、懇親会等を通じた交流機会の確保
- レクリエーション企画
  - ・総会 96 名、懇親会 116 名、新年会 72 名などの参加の他、支部ごとの交流会も積極的に行われ、多くの参加をいただいた。また、それらの機会を通じ会員の獲得に繋がった。

### 5 介護福祉に係わる関係機関・団体との連携・協力

- 厚生労働省・熊本県・熊本市その他市町村・社会福祉協議会、他各種団体等との連携や各種委員の選出
- 研修会などの共催、後援
  - ・主に熊本県、熊本市の介護福祉行政に関する委員などを数多く派遣した。
  - ・医師会、看護協会、PT 協会、OT 協会をはじめとする他団体との共催、講師派遣などを行った。

### 6 地域福祉に貢献する

- 介護事業所等従事者研修への講師派遣
- 養成校、実務者・初任者研修等への講師幹旋、派遣
- 生活介護支援サポーター養成講座等、県民・市民講座への講師派遣
  - ・例年通り、数多くの依頼があり役員を中心として講師を派遣した。
- ボランティア派遣及び被災地支援協力
  - ・災害への派遣は発生しなかった。

### 7 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- 介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に向けた講習会
  - ・ケアマネピンポイント勉強会・・・9/10
  - ・ケアマネ直前対策勉強会・・・10/10
  - ・介護福祉士受験対策勉強会・・・12/1

・介護福祉士模擬試験・・・12/8 他支部による寺子屋勉強会・・・計9回

○ その他 委託事業など

・技能実習生等のスキルアップ研修(熊本県)を受託、集合・訪問研修を行った

※ 3月以降に予定されていた研修などは県・支部ともに新型コロナウイルスの影響により中止、延期となった。

本会主催の主たる研修・催事への参加者延べ人数・・・2495名

# 2019年度 決算書

2019年4月1日から

第2号議案

2020年3月31日まで

収入の部				
科目	予算	決算	増減(予算比)	備考
年会費等収入	4,600,000	4,689,471	89,471	
会員年会費等	4,600,000	4,689,471	89,471	旅費、郵送等助成含む
事業収入	12,000,000	12,853,731	853,731	
対策講座・模擬試験等				
研修会収入	7,500,000	6,898,731	-601,269	受験対策講座・模擬試験・直前勉強会等 実習指導者研修・ファースト研修等
その他	4,500,000	5,955,000	1,455,000	県事務委託費など
協賛金等収入	150,000	74,600	-75,400	
広告協賛	100,000	74,600	-25,400	チラシ頒布等
賛助金収入	50,000	0	-50,000	
雑収入	900,500	669,035	-231,465	
利息	500	9	-491	預金利息
その他	900,000	669,026	-230,974	祝儀、懇親会費、など
繰入金	744,622	744,622	0	
前年度余剰金	744,622	744,622	0	
合計	18,395,122	19,031,459	636,337	予算比

a

支出の部				
科目	予算	決算	増減(予算比)	備考
事業運営費	6,150,000	4,237,134	-1,912,866	
教材費	1,900,000	1,198,330	-701,670	模擬セット・テキスト等
会場・設備借用費	600,000	727,240	127,240	
講師謝金	2,000,000	983,367	-1,016,633	
人件費	400,000	517,730	117,730	スタッフ日当等
研修材料費	300,000	204,595	-95,405	文房具、受付備品等
支部活動費	750,000	436,522	-313,478	北20万 中央35万 南20万
雑費	200,000	169,350	-30,650	講師湯茶、昼食代、研修券差額、返金等
事務局運営費	12,245,122	14,631,653	2,386,531	
事務局家賃	700,000	663,888	-36,112	家賃・更新手数料込み
駐車場借用費	330,000	324,000	-6,000	自民党県連、BS不動産等3台分
水光熱費	150,000	107,950	-42,050	電気、水道
事務機器維持費	300,000	241,356	-58,644	印刷機レンタル代、PC、周辺機器等
通信費	2,000,000	1,308,298	-691,702	電話代、ケーブル通信費、切手・配送費
人件費	5,800,000	5,275,172	-524,828	常勤1名、非常勤事務員3名、社会保険料含む
旅費交通費	350,000	274,091	-75,909	全国会議、ブロック会議、リーダー研修、スタッフ交通費等
活動費	400,000	243,490	-156,510	協賛等拠出金、ブロック研修助成金・負担金等
消耗品代	300,000	328,380	28,380	OA消耗品、事務局備品、ノベルティグッズ等
印刷製本費	300,000	549,430	249,430	チラシ・名刺・封筒・資料作成費等
ホームページ管理費	80,000	106,720	26,720	ホームページ管理 他
委託費	280,000	3,561,561	3,281,561	社会保険労務士事務所、介護の日関連業者委託等
広報渉外費	950,000	1,014,872	64,872	祝電・弔電・花代等 懇親会負担金等
雑費	305,122	632,445	327,323	租税公課、振込手数料、印紙代、県補助返還金など
合計	18,395,122	18,868,787	473,665	予算比

b

収支差額・・・ ¥162,672 a - b:次年度繰越

監査報告 2020年5月18日に残高証明等関係書類を照らし決算の確認をいたしました。ここに適正に処理されていることをご報告いたします。また、規約に基づいた事業運営が行われており、関係法令の違反等もなく業務が遂行されておりますことをご報告いたします。

2020年 5月 18日

監事 光多 文浩

監事 福田 雄二



## 2020 年度 事業計画

### 第 3 号議案

※ 会員獲得目標・・・ 登録者 1200 名

<はじめに>

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、定時総会をはじめ、集合を伴う研修等事業について、上半期は見合わせるという判断を行い、それを踏まえ事業規模・予算規模の縮小を大幅に図った計画となっている。事務局運営についても最低限確保すべき体制で当面对応することとする。一方で、新たな生活様式が求められているのと同じく、web 研修の導入をはじめ、新たなスタイル(時代)の事業の在り方を検討し、職能団体としての役割を果たし県民福祉の向上に努める。

尚、新型コロナウイルスの収束状況を踏まえつつ、行政・関係団体・執行部・支部役員で緊密な連携を図りながら、事業実施については都度実施の可否も含めた検討を行うこととする。

本会定款第4条に則り以下の事業を実施する

#### 1 会員の職業倫理並びに専門的知識及び技術の向上を図るための研修

- スキルアップ研修・・・県・支部単位において
- 実習指導者養成研修
- 介護福祉士基本研修
- ファーストステップ研修
- サービス提供責任者研修
- 技能実習指導員養成研修
- 多職種連携・介護過程・リーダー養成研修など
- 日本介護福祉士会主催の各種研修への参加 ⇒ 今年度は中止

#### 2 介護・福祉の推進に必要な調査・研究

- 研究委員会において、介護福祉領域の研究を行う
- 日本介護福祉士会や関係機関が行う、就労実態・イメージアップ・その他の調査に協力する

#### 3 介護福祉の向上のための普及啓発

- ホームページ、facebook を活用したIT広報の充実
- カラー刷りのチラシ、広報紙の作成
- 介護福祉士養成校、福祉系高校との連携強化
- 介護の日 in くまもと 2020 実行委員長・業務受託など

#### 4 会員相互の交流

- 研修会、懇親会等を通じた交流機会の確保
  - レクリエーション企画
- ⇒いずれも今年度は原則行わない

#### 5 介護福祉に係わる関係機関・団体との連携・協力

- 厚生労働省・熊本県・熊本市その他市町村・社会福祉協議会、他各種団体等との連携や各種委員の選出
- 研修会などの共催、後援

#### 6 地域福祉に貢献する

- 介護事業所等従事者研修への講師派遣
- 養成校、実務者・初任者研修等への講師派遣
- 生活介護支援サポーター養成講座等、県民・市民講座への講師派遣
- ボランティア派遣及び被災地支援協力

#### 7 その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- 介護福祉士・介護支援専門員の資格取得に向けた講習会  
介護福祉士 受験対策勉強会 全国模擬試験 直前勉強会  
介護支援専門員 ピンポイント勉強会 直前勉強会

その他必要なスキルアップ研修や受託事業など

## 2020年度 予算書

2020年4月1日から

2021年3月31日まで

第4号議案

収入の部				
科目	前年度予算	予算	増減(予算比)	備考
年会費等収入	4,600,000	4,000,000	-600,000	
会員年会費	4,600,000	4,000,000	-600,000	
事業収入	12,000,000	6,000,000	-6,000,000	
対策講座・模擬試験等				受験対策講座・模擬試験・直前勉強会等
研修会収入	7,500,000	3,000,000	-4,500,000	実習指導者研修・ファースト研修等
その他	4,500,000	3,000,000	-1,500,000	県事務委託費など
協賛金等収入	150,000	150,000	0	
広告協賛	100,000	100,000	0	チラシ頒布等
賛助金収入	50,000	50,000	0	賛助団体年会費
雑収入	900,500	200,300	-700,200	
利息	500	300	-200	預金利息
その他	900,000	200,000	-700,000	祝儀、懇親会費など
繰入金	744,622	162,672	-581,950	
前年度余剰金	744,622	162,672	-581,950	
合計	18,395,122	10,512,972	-7,882,150	予算比

a

支出の部				
科目	前年度予算	予算	増減(予算比)	備考
事業運営費	6,150,000	2,850,000	-3,300,000	
教材費	1,900,000	750,000	-1,150,000	模擬セット・テキスト等
会場・設備借入費	600,000	350,000	-250,000	
講師謝金	2,000,000	850,000	-1,150,000	
人件費	400,000	200,000	-200,000	スタッフ日当等
研修材料費	300,000	200,000	-100,000	文房具、受付備品等
支部活動費	750,000	400,000	-350,000	
雑費	200,000	100,000	-100,000	講師湯茶、昼食代、研修券差額、返金等
事務局運営費	12,245,122	7,662,972	-4,582,150	
事務局家賃	700,000	700,000	0	
駐車場借入費	330,000	250,000	-80,000	自民党県連等2台分
水光熱費	150,000	120,000	-30,000	電気、水道
事務機器維持費	300,000	450,000	150,000	印刷機レンタル代、PC、周辺機器等
通信費	2,000,000	1,800,000	-200,000	電話代、ケーブル通信費、切手・配送費
人件費	5,800,000	2,500,000	-3,300,000	非常勤事務員3名、保険料含む
旅費交通費	350,000	150,000	-200,000	全国会議、ブロック会議、リーダー研修、スタッフ交通費等
活動費	400,000	150,000	-250,000	協賛等拠出金、ブロック研修助成金・負担金等
消耗品代	300,000	200,000	-100,000	OA消耗品、事務局備品、ノベルティグッズ等
印刷製本費	300,000	250,000	-50,000	チラシ・名刺・封筒・資料作成費等
ホームページ管理費	80,000	200,000	120,000	ホームページ管理 他
委託費	280,000	350,000	70,000	社会保険労務士事務所、業者委託等
広報渉外費	950,000	240,000	-710,000	祝電・弔電・花代等 懇親会負担金等
雑費	305,122	302,972	-2,150	租税公課、振込手数料、労働保険料、印紙代、小口残 他
合計	18,395,122	10,512,972	-7,882,150	予算比

b

収支差額・・・ ¥0 a - b